

企画展

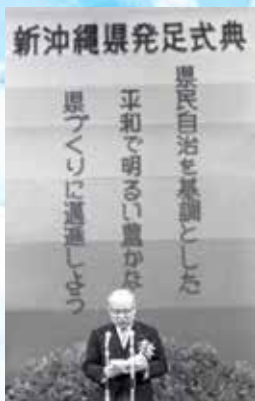
沖縄復帰50年と1972

会期 2022
4.23 土 ▶ 9.4 日

今年5月15日、沖縄は日本復帰50年を迎えます。1945年3月末に始まった沖縄戦では、一般住民を含む多くの命が奪われました。終戦、そして日本が主権を回復したサンフランシスコ講和条約発効後も、沖縄は米国の施政権下に置かれました。復帰にあたって、琉球政府が求めた基地の「即時無条件全面返還」にはほど遠く、米軍基地は存続し、「核抜き」に対する県民の疑念が残されたままでした。

- I「沖縄の日本復帰」
- II「1972 そのとき日本は 世界は」
- III「沖縄戦と米軍統治」
- IV「復帰以降の沖縄」

沖縄の地元紙である沖縄タイムスと琉球新報は、そうした住民の復帰への不安を大きく伝えています。地元紙が復帰をどのように伝えたか、当時の紙面と写真で紹介するとともに、復帰前後の沖縄をめぐる報道も取り上げます。また、沖縄が日本に復帰した1972年に国内外で起きたさまざまな出来事を報じる当館所蔵の号外・紙面も展示します。ハワイエでは、朝日新聞の沖縄復帰を捉えた写真を展示します。



復帰記念式典で新しい県政スローガンをバックにあいさつする屋良朝苗知事=1972年5月15日、那覇市民会館(沖縄タイムス社提供)



平和と豊かさの創造を掲げスタートした新生沖縄県。目抜き通りでは横断幕で祝意ムードを高めた=1972年5月15日、那覇市・国際通り(沖縄タイムス社提供)



円で最初の買い物をしてもらおうと、デパート内に「私設」の円交換所が登場した=1972年5月15日、沖縄三越(琉球新報社提供)



沖縄タイムス 1972年5月15日 朝刊(沖縄タイムス社提供)



琉球新報 1972年5月15日 朝刊(琉球新報社提供)



グアム島から台風避難を理由にB52核戦略爆撃機約90機が飛来。ベトナム戦の激化により各種軍用機の離着陸が相次いだ=1972年10月26日、米軍嘉手納基地(琉球新報社提供)



沖縄返還当時の那覇の市街地(奥)と米軍牧港住宅地区(手前)。地元住民の密集住宅地と対照的だ=1972年5月9日、朝日新聞社機から撮影(朝日新聞社提供)